二つの時代をセンセーショナルに彩ったフレンチアイコンの母と娘。
決して語られることのなかった彼女たちの《心の奥に隠された深い感情》が、今静かに明かされる。

スノッブでアヴァンギャルド、フレンチポップのレジェンド、セルジュ・ゲンズブールのパートナー、娘という特異な環境下で家族の形を築いてきたふたりの女性。
彼女たちはセレブリティの母と娘ということ以上に、1960-70年代と1980-90年代、ふたつの時代をセンセーショナルに彩ったシネマ&ファッションアイコンでもあった。
シャルロットが監督デビューを果たした『ジェーンとシャルロット』は、母ジェーンがこれまで誰にも語ることのなかった娘たちへの想い、パブリックイメージとの狭間で感じた苦悩や後悔、最愛の娘ケイトを自死で失って以降の深い哀しみを、ふたりの間に流れる優しい時間の中に紡ぎ出した貴重なドキュメンタリー。誰にも踏み込めなかった母と娘の真実の姿が、感動的に綴られている。

Histoire

2018年、京都。シャルロット・ゲンズブールは、母であるジェーン・バーキンを見つめる撮影を開始した。これまで他者を前にしたときに付き纏う遠慮の様な感情が、母と娘の関係を歪なものにしてきた。自分たちの意思とは関係ないところで、距離を感じていた母娘。ジェーンがセルジュの元を離れ家を出て行った後、父の元で成長したシャルロットには、ジェーンに聞いておきたいことがあったのだ。3人の異父姉妹のこと、次女である自分より長女ケイトを愛していたのではという疑念、公人であり母であり女である彼女の半生とは一体どんなものだったのか。シャルロットはカメラのレンズを通して、初めて母親の真実と向き合うことになる。

シャルロット
「なぜか、ママと向き合うといつも気まずさを感じてしまうの」
ジェーン
「私はあなたに気後れしていた。他の姉妹とは違って特別な存在だったから」

映画公開を記念して agnès b. との
コラボT発売が決定

アニエスベーは、映画を愛し俳優や女優も敬愛しています。
私たちはシャルロット・ゲンズブールによる素晴らしい新作『ジェーンとシャルロット』をサポートできる事を、大変嬉しく思います。

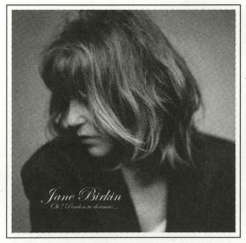
販売日：8月4日（予定）
発売価格：12,000 yens + tax.
購入店舗：渋谷店、青山店、渋谷スクランブルスクエア店、銀座店、京都BAL店
サイズ：S、M、L and XL

ジェーンとシャルロット ナイト
produced by **KENZO SAEKI**
La nuit spéciale de Jane et Charlotte
2023年 8月2日(水)

開場開演／18:30　下北沢Flower Loft
http://www.loft-prj.co.jp/flowersloft/
出演：POiSON GiRL FRiEND | featuring 斉藤ネコ（LIVE）
辛酸なめ子（Guest Talk）| 梶野彰一（Guest DJ）
DJ：きうぴい | VJ：ALi（anttkc）
前売：イープラス3,000円　当日：3,500円

映画のエンディングロールで使用された楽曲
《私はあなたのために完璧でありたかった！
Je voulais être une telle perfection pour toi!》

収録アルバム
Oh! Pardon tu dormais...
Jane Birkin



(UNIVERSAL MUSIC)

ジェーン・バーキンがエティエンヌ・ダオ、ジャン・ルイ・ピエロと共に制作した、とてもパーソナルなアルバム。数年前にジェーンが脚本と監督を手掛けた舞台『Oh! Pardon tu dormais...』をミュージカル仕立てに脚色した作品ともいえる。――（10年前に亡くなった）ジェーンの娘ケイト・バリーのこと、損失、傷心、亡霊、英語で書く歌詞――そして少しずつ別の地平に向かって漂っていく。

デジタル配信 iTunes / Apple Music / Spotify / LINE MUSIC / amazon music CD発売中

8月4日(金)より全国順次ロードショー！

全国共通特別鑑賞券（税込1,500円）をお求めのお客様には、特製ポストカードセットを先着順でプレゼント中！

NOLITA AND DEADLY VALENTINE
PRESENT

あなたのことを
ずっと知りたかった

ジェーン・バーキン
シャルロット・ゲンズブール　ジョー・アタル

Jane par Charlotte
ジェーンとシャルロット

シャルロット・ゲンズブール監督デビュー作品

第74回カンヌ国際映画祭
オフィシャルセレクション
カンヌプルミエール

二つの時代のシネマ&ファッションアイコンである母と娘。これまで向き合うことのなかった二人の間に、静かで激しい感情の波が満ちてくる。

制作：2021年フランス映画 | 上映時間：92分 | アスペクト比：1.85 | サウンド：5.1ch | 映倫番号49690 | 映倫区分G | 上映素材：DCP・Blu-ray | 日本語字幕翻訳：横井和子 | 宣伝デザイン：NORA DESIGN | 予告編監督：遠山慎二（RESTA FILMS）| 関西地区営業・宣伝：キノ・キネマ | 協力：palmyra moon

ReallyLikeFilms Distribution Company　配給：リアリーライクフィルムズ　後援：agnès b.　エンディングロール曲：《私はあなたのために完璧でありたかった！ Je voulais être une telle perfection pour toi! 》ジェーン・バーキン（UNIVERSAL MUSIC）
www.reallylikfilms.com

ふたりは特別な存在の母娘のはずなのに、
私たちをこんなにも感動させるのは何故なのか？

各界の著名人から届いた、賞賛メッセージ！（50音順）

母と娘の関係は様々である。
Jane とCharlotteはお互いを否定することの無い関係に見える。
でもそこに至るまでには葛藤ややり場の無い寂しさがあり、
長い時間をかけてようやくお互いの存在を理解して行く様が見えて来る。
私と私の母との関係、そして私の娘たちとの関係を、
改めて深く考える事を教えてもらえた気持ちになった、
素晴らしい作品。

土屋アンナさん（モデル・アーティスト・潜水士）

母を切望する娘の眼差しは、
あまりに柔らかく、鋭く、リリカルで……
いつしか呼吸するのも忘れ、画面に見入っていた。
容易に解かれない愛のミステリー。
けれど、彼女たちの佇まいに、言葉の端々に、
答えはちゃんと存在していた。

内田也哉子さん（文筆業）

Parisでジェーン・バーキンの家に行った時、
3階の部屋で机に向かって勉強していたシャルロット。
可愛くて透明でシャイな少女が大人になり、監督になった。
歳を重ねたジェーンのすべてを優しくありのままに映し撮っていた。
ボーカルをなくしたシャルロットの音楽もいい。

小林麻美さん

まるで、私を見ているようだった。
子供たちに愛を捧げ、それ故に怯えてる
嫌われたくなくて、ずっと愛してほしくて。
子供たちの為ならどんなことでもできる用意がある。どんな時でも。
でも、その事はいつも秘密。
親子。愛を繋ぐ〜

松田美由紀さん（俳優）

時代のアイコンであり、親子であり、
女優同士でもある二人がカメラを通じて初めて語り合う極めてパーソナルな、
それ故に普遍的な人生の物語。
母であること、娘であること、愛すること、老いること、愛する人を失うこと、
戸惑いと和解を繰り返しながら、それでも前を向いて生きていくこと。
今年、最も心に響くドキュメンタリー映画です。

野宮真貴さん（ミュージシャン・エッセイスト）

ジェーン・バーキンをスクリーンでちゃんと観たのは『欲望』が最初。
アイコンとしてではなく等身大の視点でみたことがなかった私は、
シャルロットとのぎこちなくも愛のあるやりとりに妙に胸騒ぎを覚えながら観た。
多分自分の中で消化しきれてない私の人生の棘を刺激されたのかもしれない。

ヒグチユウコさん（画家）

母に抱く憧れや尊敬、そして複雑な感情が全て素直に描かれていて、
私も娘としてシャルロットに通ずる想いを感じた。
母でありアーティストであるジェーンの言葉は柔らかくて美しくて、人間的。
まるで私の母みたいだなぁと思うところもあって、とても素敵な映画だった。

松田ゆう姫さん（アーティスト）

母ジェーンとの真の愛の姿はどこに？
リアルな母の言葉を求めて、
娘シャルロットのひたむきな思いに胸を打たれる。
誰もが母親との関係を優しく見直したくなる映画。

村上香住子さん（文筆家）

ふたりの距離感が羨ましい。
美し過ぎるから。
娘のカメラレンズを通しての母親は
誰よりもカッコ良くて、
顔のシワが宝物に思えた。

娘は母に抱きしめられたいだけ。
わたしはいつもそう話す。
わたしも会話ではなく、母にハグされたかった。
それだけ。
そんなシンプルなことが何よりも大切だと
この作品を見て改めて思った。

LiLiCoさん（映画コメンテーター）

まるで家主の留守を狙って、突然母娘がセルジュの家を訪ねる。
40年の時を経て、まったく当時のままの香水瓶を開ける。
いまだその中に入っている気体を吸い込むジェーン。
その瞬間我々も目眩と共に記憶や時間、映画の魔術を味わう。

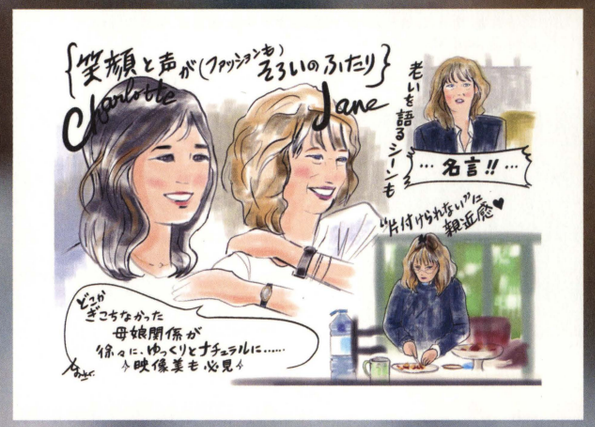
ヴィヴィアン佐藤さん（美術家・ドラァグクイーン）

不思議。こんな美しい映画なのに親戚のホームビデオくらい心に近くて。
シャルロットのコーデュロイコート真似したくなる！

菊地貴公さん（ネットでポチリ隊・ファッションYouTuber）

この数年間で大きな痛手を負ったジェーンの心に向かう、娘シャルロット。
パパは元祖チョイ悪オヤジの大プロデューサー、セルジュだ！
女性の旗手達が、男女の変わり目の時代だからこそグっと来る映像美。
親子の魂の邂逅に涙せずにいられない奇跡のドキュメンタリー！

サエキけんぞうさん（作詞家・アーティスト）



米澤よう子さん（イラストレーター）

セルジュ（・ゲンズブール）の訃報に接した当時のフランス共和国大統領・フランソワ・ミッテランをして、
「われらの時代のボオドレールにしてアポリネールであった」といわしめた。
フランスが生んだもっとも偉大なふたりの詩人の生まれ代わりであった男を愛したふたりの女の対話が浮かび上がらせたのは、
愛するものの愛おしさを永遠化するためででもあるかのように愛したものを壊しつづけた詩人の、
ジェーンとシャルロットという名のレガシィだった（のだとおもう）。

鈴木正文さん（カリスマ編集者）